

## 研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学眼科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2025年 12月

福島県立医科大学医学部眼科学講座 向井 亮

### ■ 研究課題名

黄斑浮腫を伴う網膜静脈閉塞症に対する抗血管内皮増殖因子抗体の効果を検討するための後ろ向き研究

### ■ 研究期間

2026年1月～2030年1月

### ■ 研究の目的・意義

意義：黄斑浮腫を伴う網膜静脈閉塞症に対して抗血管内皮増殖因子抗体の硝子体注射が当院で盛んに行われています。しかしながら当院で治療に使われている抗血管内皮増殖因子抗体は、4種類あり、それぞれ構造や薬剤の値段が異なります。その治療効果も多少違いがあると予想されますが、調査もあまり行われていないので、わからないことが多いです。

それぞれの効果の違いを調査し、明確にすることで黄斑浮腫を伴う網膜静脈閉塞症と抗血管内皮増殖因子抗体の正しい関係の解明に繋がります。

目的：当院で黄斑浮腫を伴う網膜静脈閉塞症のため治療を受けた方において、カルテから、抗血管内皮増殖因子抗体により治療効果に違いがあるのかを明らかにすることです。

### ■ 研究対象となる方

2015年4月から2025年8月までに〇〇〇病院眼科を、未治療の黄斑浮腫を伴う網膜静脈閉塞症のため受診された患者さんを対象とします。

### ■ 研究の方法

対象となる方の損料情報から診断名、受診時の年齢、性別、視力、眼圧、網膜中心窓厚などの項目について抗血管内皮増殖因子抗体の硝子体注射後1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月のデータを収集します。検討項目は通常の診察で行われる眼科検査の範囲内です。

## ■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年1月1日

## ■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学眼科学講座であり、研究責任者は眼科学講座 向井亮です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学眼科学講座で利用し解析を行います。

### 【研究組織】

研究責任者	福島県立医科大学眼科学講座 教授 向井亮
既存試料・情報の提供のみを行う機関	・今泉眼科病院 医局長 武藤 哲也 ・獨協医科大学埼玉医療センター眼科 非常勤講師 武藤 哲也

## ■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他の機関等への情報の提供はありません。

## ■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理人の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

### 問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部眼科学講座 担当 武藤哲也

電話：024-547-1303 FAX：024-548-2640

E-mail：mtetsuya@fmu.ac.jp